

平成 18 年 12 月 21 日

各 位

会 社 名 コカ・コーラウエストホールディングス株式会社

代表者名 代表取締役 末吉紀雄  
C E O

(コード番号 2579 東証第1部、大証第1部、福証)

問合せ先 広報・IRグループマネージャー 高瀬雅宏

(Tel. (092)283-5718)

## 中期経営計画策定のお知らせ

当社コカ・コーラウエストホールディングス株式会社は、本年 7 月にコカ・コーラウエストジャパン株式会社と近畿コカ・コーラボトリング株式会社の経営統合により新たにスタートを切りました。現在は統合以前から推進している中期経営計画をもとに活動を進めておりますが、次期（平成 19 年 12 月期）を初年度とするコカ・コーラウエストグループの新中期経営計画を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 名 称

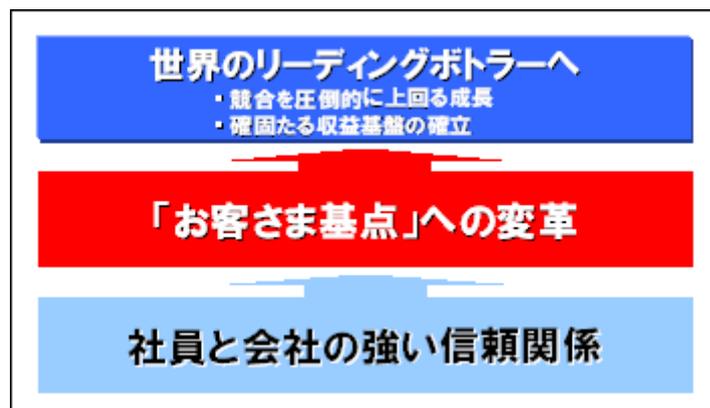


2. 計画期間

平成 19 年 12 月期から平成 21 年 12 月期の 3 ヶ年

3. ビジョン

社員と会社の強い信頼関係のもと、お客さま基点への変革を進め、世界のリーディングボトラーになることを目指します。



4. 経営目標の考え方

平成 19 年から平成 21 年の 3 ヶ年累計のマーケット成長率は+4%と見込んでいます。飲料業界は成熟市場であり、今後も競争は激化することが予想されますが、当社は市場の伸び以上の成長、確固たる収益基盤の確立を行い、シェアを向上させます。

## 5. 経営目標

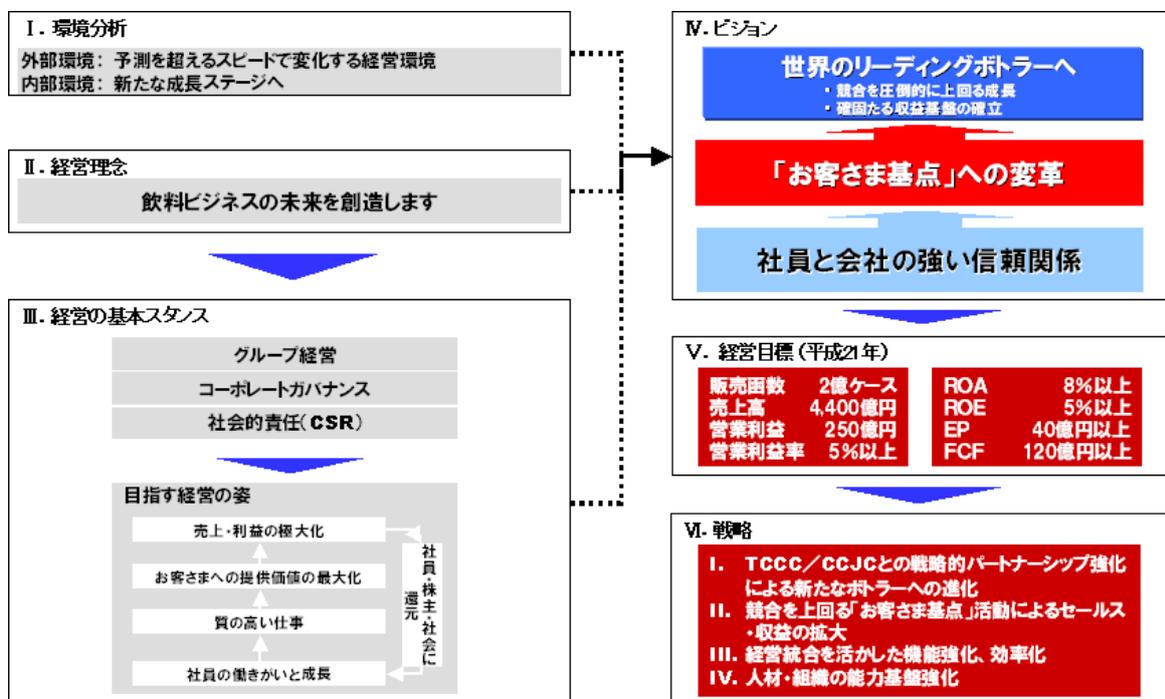
平成 21 年 12 月期（連結）

・販売函数	2 億ケース
・売上高	4,400 億円
・営業利益	250 億円
・売上高営業利益率	5% 以上
・ROA（総資産営業利益率）	8% 以上
・ROE（自己資本当期純利益率）	5% 以上
・EP（エコノミックプロフィット）	40 億円以上
・FCF（フリーキャッシュ・フロー）	120 億円以上

## 6. 戦略

- (1) ザコカ・コーラカンパニー（TCCC）／日本コカ・コーラ株式会社（CCJC）との戦略的パートナーシップ強化による新たなボトラーへの進化
- (2) 競合を上回る「お客さま基点」活動によるセールス・収益の拡大
- (3) 経営統合を活かした機能強化、効率化
- (4) 人材・組織の能力基盤強化

<参考> 中期経営計画の全体像



以上